



## カイチに少しでも恩返しができるように 精一杯頑張っていきます

初めまして。諸口予備校で非常勤講師として働いている西村です。自分は小学2年生の頃から開智総合学院の諸口教室に通っており、小学校低学年ではバスカルキッズ、高学年になると集団の授業、中学時代は1年の時は個別指導、中2、中3で集団の授業を受けるなど色々なことをカイチで経験し、多くのことを学んできました。

高校受験では四條畷高校に合格し、現在は大阪公立大学に通っています。カイチでの日々を振り返ると、楽しかったことが多く思い出されます。カイ

チにはいろんなイベントがあり、通い始めた小学校の頃は勉強に行くのはもちろんなのですが、半分遊び気分だった気がします。そのくらい楽しかった思い出がたくさんあります。カイチの先生方は皆さん優しく、授業は各先生方の個性が出ていてどの授業も苦痛を全く感じないくらい楽しかったです。授業中はずっと集中しているというわけではなく時々先生方が面白い話をしてくださり、時間があっという間に過ぎてもう終わりかと感じていたのを覚えています。この頃から勉強の楽しさを知ることができ、勉強に対する抵抗感をなくせた上に勉強を習慣の一部にすることができたことは今の自分にとって本当に大事なことだったなと感じています。

西村 海人(諸口予備校)

また、カイチには月に1回の診断テストがあり、その成績で順位が発表され席替えが行われます。そこで同じ教室の同級生達と競い合ったり励ましあったりと切磋琢磨し良い関係を築くことができました。そのおかげで勉強に対する熱を下げることなく、次こそはあの子に勝ちたいなどとモチベーションを持ち続けることができました。今振り返っても、カイチの勉強環境だからこそここまで勉強を頑張れたのかなと思います。今の自分の学力はカイチのおかげと言っても過言ではないです。そんなお世話になったカイチに少しでも恩返しができるように精一杯頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。



## 福井の ちょっと TEACHER'S VOICE

福井 幸司(カイチ予備校)

### しくみが分かれば理科は超楽しい!

私はカイチ予備校で「生物」を教えています。中学生から高校生の頃が一番好きな科目は理科でした。「しくみが分かる」ということに感動するタイプだったようです。それはこの年齢になった今でも変わっていないと思います。「生物」は理解が深まれば楽しくて、さらに知りたくなります。

みなさんは雄の三毛猫って珍しいことを知っていますか？

夏期講習の「生物」の授業では毎年、重要単元の「遺伝」を扱います。その中で難しいのが「伴性遺伝」といって、遺伝の仕方に性別の違いがある遺伝です。この例としてよく題材にされるのが「ハエの眼の色」。……なんですけど、イマイチ生徒の食いつきが良くない。そこで今年度は「ネコの毛の色」で解説することにしました。

ここで「どのように性別は決定するのか？」を簡単に紹介します。



哺乳類の性別は2種類の性染色体(X染色体とY染色体)の組み合わせで決定します。X染色体が2本(XX)なら雌、X染色体とY染色体が1本ずつ(XY)なら雄になります。両親から半分ずつ受け継ぐため、雌のX染色体は母親由来と父親由来が1本ずつ、雄のX染色体は母親由来の1本のみということ(父親からは必ずY染色体を受け継ぐ)で。遺伝情報は圧倒的にX染色体の方が多く、この不公平を解消するために発生段階で起こっているのが「X染色体の不活性化」。雌の細胞の核内にある2本のX染色体のどちらか一方を封印するのです。この封印は最初の決定が引き継がれます。例えば、父親由来のX染色体が封印されれば、その後は母親由来の方だけが働き、細胞分裂後も続きます。この不活性化は細胞ごとにランダムに起こります。そのため雌の全身では、母親由来のX染色体が働いている細胞と父親由来のX染色体が働いている細胞がモザイク状に分布しているのです。

ネコの毛の色に関わる遺伝子をざっくり説明すると、白色の割合を決定する遺伝子と白色以外の部分を茶色か黒色のどちらかにする遺伝子があります。そして、後者はX染色体上に存在する遺伝子

なのです。

ここで、ある雌ネコがもつ母親由来のX染色体が茶色にする遺伝子、父親由来のX染色体が黒色にする遺伝子をもっているとしましょう。この場合、母親由来の方が不活性化した細胞からは黒色の毛が生じます。この細胞が分裂して生じた細胞が集まっている部分は黒色になるわけです。そして不活性化はランダムに起こるので、別の部分は茶色になることがあります。すると、白色以外の部分が茶色か黒色かに分かれますね。これが雌の三毛猫になります。



は「変異」でしか生まれないのです。

この記事はかなり大雑把な説明で正確ではありません。詳しくは予習段階で参考にした『猫柄図鑑』をご覧ください。または将来カイチ予備校に通ったときは「福井の生物」を受講してください。

これで雄の三毛猫が珍しいと言われる理由が分かりましたね。雄にはX染色体が1本しかないため、茶色と黒色を両方同時に持つことができません。白色を含めて二色の濃淡で毛の色が決まります。雌の方がカラフルになるわけです。雄の三毛猫



September 2023

Vol. 132

毎月10日発行

【本部】  
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008  
【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467  
【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220  
【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

## 受験生をサポートする5つのポイント

受験生は夏期講習が終わり、いよいよ受験校を決定するテストが続く秋を迎えます。

この時期に生徒達が受けるテストは定期テストが2回、中学生チャレンジテストが1回、実力テストが3回、模擬試験が3回の合計9回。そして、更に英検。生徒達にはどれも大切なテストであり、その結果によって気持ちもアップダウンする、受験においては最もナーバスになる季節です。

しかも、皆さんがご存じの通り子供達は、今まさに自立し子供から大人になろうと葛藤している成長期の真只中。様子も知りたい、進路の話もある、でも子供達はいつもイライラしていてコミュニケーションが上手く取れない状況かもしれません。

今回のGROWINGは、保護者の方がこの時期の子供達に対して、過干渉でも放任でもない適度な距離を保ちながらサポートするための5つのポイントを書かせていただきたいと思います。宜しければ参考にしてください。

### ポイント1 継続的に声かけをする

「おはよう。」「最近どう？」日によって返事を億劫がるときもあるかもしれませんが、無視されることもあるかもしれません。しかし、必ず何らかのリアクションが返ってきます。保護者の方は生まれた時から誰よりも子供達をずっと見てきています。彼らのリアクションの僅かな違いで、「今日はしんどそうだな」「学校で何かあったのかな」と多くのことを感じ取ることができます。そして、何よりも子供達は声をかけてもらうことで、自分の事を気にかけてくれているという愛情を感じ取ることができます。

### ポイント2 子供を一人の人として目線を合わせて接する

秋は12月の三者懇談に向かって、親子で進路について話す時間を持つ必要があります。この時に注意していただきたいことが、子供を一人の人として目線を合わせて話すことです。この時期の子供達は、自分の考えを持ち、頭ごなしに命令されると反発します。しかし、その反面、孤独も感じやすい面もあります。どんなに子供達が難しい時期であっても腫れ物扱いをせず、言うべきことは人生の先輩として言ってあげてください。そして、子供達の言い分にも誠実に耳を傾けてあげてください。

### ポイント3 スマホはルールを決めて付き合い

今の子供達は勉強の合間にスマホのゲームやユーチューブ、LINEなどをすることが多いようです。朝から学校に行き、夜は遅くまで塾に行っているのです

から息抜きをするのは構いません。しかし、この時期にそれらに没頭しすぎるのは危険です。このような場合は、スマホを禁止するのではなく、時間を決める、部屋にスマホは持ち込まないなど「ルール」を決め付き合い方を覚えさせるようにしてください。

### ポイント4 食事・睡眠をしっかり取らせる

秋の子供達は、クラブを引退し生活リズムが変わることで、体調を崩し風邪などを引きやすくなります。このことにはテスト勉強が続くことで生活が夜型になることも少なからず影響しているように思います。テストが過密になる10月・11月に体調を崩し、3日休むとスケジュールが大きくずれてしまい、焦りに繋がってしまうケースもあります。しっかり食べてしっかり寝る。頑張りすぎて無理をしやすい時期でもありますので、体調管理は意識してあげてください。コロナ、インフルエンザなどの感染症にもくれぐれもご注意ください。

### 5 その他

受験生達との話の中で、親にしてもらって嬉しいことで良く出てくるのが「お風呂を先に入れてくれる」「好きなお菓子を買ってくれている」でした。子供達はこのようなことを通じて、気にかけてくれているという気持ちを喜んでいるのだと思います。

思春期の中、受験という試練に立ち向かい自立に向かう我が子に親ができることは「見守り示唆を与えながら陰で支える」ことしかありません。

中には、常にイライラし、親に反抗的な子供達もいるかも知れません。でも、受験が終わると子供達は一気に自分の世界を広げ、もうその世界を親と一緒に見ることはできなくなります。もしかしたら高校受験は親子で取り組める最後の共同作業かも知れません。受験が終われば、イライラしているその姿が愛おしい思い出の1ページに変わります。

子供達の受験に寄り添えるのは今しかありません。ここから寒さが厳しくなると共に子供達の受験へのプレッシャーは強くなっていきます。その時、子供達に勇気を与え、力強く支えてくれるのは、保護者の温かな見守りです。そして、それこそが自立のパワーになります。

いよいよ、受験も佳境を迎えます。困ったこと、分からないことがあれば何でも仰ってください。来年の春を全員が笑顔で迎えられるように、私達スタッフも精一杯、生徒達と保護者の皆様をサポートしてまいります。

# Focus

## CLASSROOM REPORT 教室レポート



### エニグマの先生達 ～熱意の源泉～

富田 昌史 (エニグマ教室長)

エニグマは、上本町にある中高一貫生と大学受験専門の教室です。教室が3つと自習スペースがあるだけの小さな教室なのですが、日々、50名弱の生徒に寄り添いながら頑張っています。今回はエニグマの生の様子をお伝えしていきます。



#### エニグマ在籍生

灘中学・高校	西大和学園中学・高校
大阪星光中学・高校	四天王寺中学・高校
明星中学・高校	開明中学・高校
清風南海中学・高校	帝塚山中学・高校
清風中学・高校	関西第一中学・高校
履正社中学・高校	帝塚山学院中学・高校
	等

少しずつ色々な進学校の生徒が来てくれるようになりました。

#### 先生の紹介

エニグマでは、HPをリニューアルしている真最中なのですが、先生の授業風景をご覧ください。



英語の先生達。ベテランで個性あふれるトップ講師陣



元灘講師の数学講師お二方と、理科の対馬先生

自分自身、「エニグマはこういう教室」というイメージもあったのですが、写真を撮りながら授業を見たり、先生方と遅くまで話す中で、あらためて気づくことが多くありました

エニグマで中学生から高校生までを担当されている、菅先生からみたエニグマの姿や、先生自身の熱意について聞いてみました。

#### 菅剛士先生～数学のスペシャリスト～

- エニグマの授業の特長
- ・少人数制のため目が行き届き、双方向のやり取りに重きをおける
- ・「生徒がどうやって理解にたどりついているか？」までをじっくりと見ることが出来る



#### ●中高一貫生の難しさ

- ・難関入試を突破してきた生徒達なので、高いポテンシャルを持っているが、その高いレベルの中で、単元ごとに生徒の得意不得意の差がある
- ・刺激すれば応えてくれる生徒達なので、その単元が得意な生徒にはレベルに合った試問をあげたり、逆に苦手な生徒には丁寧に対応する必要がある

・この点は、灘で教えている時や大人数授業の際には、「もっとこうしてあげたら伸ばせられるのに」と思う事が多い。

常に生徒の理解度は確認

#### ●エニグマでの面白さ

- ・大人数授業では難しい、「高レベルな生徒それぞれに飽きさせない90分間」という時間を創り出す点に、挑戦意欲をかりたたされる
- ・授業準備が結構大変。すごく大変。でも、「この子は納得したんやな」と分かる瞬間が何より楽しい

板書は丁寧・緻密

#### ●講師を続ける中で

- ・若い頃は研究の道にいたが、本意ながら生活のためにこの講師業に入った
- ・最初は前向きではなかったが、研究で得た本質性を活かして教えている中で、自分自身紆余曲折の中で成長できたんだなということに幸せを感じる。また生徒の成長を目にできるという代えがたい充実感がある

#### ●教室長からみた菅先生

- 菅先生は、京都大学数学研究科を出られたのち、灘高校で教壇にたち、医学部受験予備校などでも中高一貫生を長年教えて来られた数学のスペシャリストの先生です。

端的かつ丁寧な授業内容で、授業の際にはいつも生徒が満足げな顔をして帰っていきます。ですが同時に積極的に生徒の相談や質問に乗ってられる姿も、隣で頻繁に見る事が多くあります。

特に、「多少うまくいかないことがあっても、最後にはうまくいけばいい。大丈夫だから」と声掛けをされているのを見て、「これほど凄い先生が、ここまで親身になってくれるのか」といつも驚いています。今回ご自身の経験を聞いて、その熱意と優しさの理由に納得がいきました。

#### 非常勤の先生達

エニグマでは、非常勤の先生方も教室を引っ張っています。そんな先生たちの共通点は、自分の体験に

基づく、「何とかしてあげたいという気持ち」。そのうえで、日々寄り添いながら指導しています。



#### ●三谷先生

- ・高校の時から数学の面白さに目覚め、大学受験時には「大学への数学」というシリーズを網羅する
- ・大学では、「数学研究会」というサークルに所属

ご自身の体験から、なんとか数学の面白さを伝えたいと思っている、優しいけど熱い先生です。そのため、「どうすれば生徒自身に気づきを与えられるか」という事を何より大切し、時には答えを与えずに辛抱強く生徒を待ちます。

#### ●石田先生

- ・四天王寺中学高校出身で、エニグマの卒業生
- ・中学の時から志望されていた、薬学の研究者コースに在籍
- ・英数理は、京大レベルの問題でもこなすが、専門の生物講義はプロの先生が目を見はるほど

中高一貫校の弟さんの勉強もずっと見ていた影響で、「この子たちも何とかしてあげないかん」と、エニグマの生徒をまるで自分の弟や妹のようにビシバシ鍛えてくれています。

#### ●船井先生

- ・京大志望の生徒がいると、「京大探検ツアー」を京大生の視点から企画してくれる
- ・四天王寺の全てのコース(英数～医志コース)を体験
- ・お茶、お華、バイオリンのレッスンを日々通われる、才媛

時には厳しく、時には優しく、生徒の良いお姉さんのような存在です。

#### ご報告～子供が産まれました～

私事なのですが、7月に子供が産まれました。ちょうど夏期の面談の時期だったため、保護者の方にもたくさんのアドバイスをいただいたおかげで、すくすくと育ってくれています。カイチやエニグマの生徒達のように、「底力がある、のびやかな」子供に育ってほしいです!



# Education

## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



### 夏期講習お疲れ様でした!!

岡本 泰行 (高殿教室)

今年の夏は猛暑日が多く、今まで生きてきた中で最も暑いのではないかと感じる夏でした。暑い→あつい→熱い!

今年も暑い夏の季節が。そうです夏期講習です。夏期の思い出について書きたいと思います。

#### ① ビンゴ大会再来!

今年は今までコロナウイルスの感染拡大でできなかったことが復活しました。そうです「ビンゴ大会」です! コロナの影響で3年間実施されませんでした。今年ようやく復活です! 「ビンゴ大会」再び、高殿教室では教室オープンしてから初の実施になり、どんなことをするのか? の子が多かったと思いますが、鮎の雨が降ったと思います。(今年はラムネだったかも) 夏期講習の勉強をしている中の息抜きとしては良かったと思います。また、ビンゴ大会の後に残りの景品をかけたじゃんけん大会をしているのですが、これがまためちゃくちゃ盛り上がる! あらかじめ膨らましておいたでかい「ハンマー」や「大きなお菓子」などの争奪戦はみんな「うわー負けたー」や「よっしゃー」などと大声を出しながら普段とは違う一面を見せてくれました。

このビンゴ大会が盛り上がるように準備してくれた先生、景品を買いに行ってくれた先生、夏期講習の合間を縫っているりと取り組んでくれました。ありがとうございます!!!



#### ② お弁当の復活!!

中学3年生の夏期講習の最後に8時間自習があります。夏期講習の最後に行うV模試に向けて夏期講習のやりきり課題に取り組んだり、過去問を解いたり各自が自分に必要なものを黙々と取り組みます。中学3年生の夏期講習はハードで、お昼12時～夕方までをほぼ毎日。また、7月にテストがあり、お盆前にもプレテストがあり、今の自分の偏差値が知らされ、喜んだり、落ち込んだり、そんな1か月半でした。お盆の後に檄を飛ばしたこともありましたが、それでも腐らなみなさんはしっかり取り組んでくれたと思います。個別指導の子達も、授業数が中1・2の時と比べて倍以上だったと思います。毎日3時間ずつ勉強しに来たり、お昼にも勉強しに来たりとたくさん勉強しましたね。今年から中学校の部活も本格的に実施されるようになり、部活による欠席や、大会・コンクール等により出席がままならない子供達もいました。しかし、中学3年生にもなると、自分の将来について少しずつ考えるタイミングが多くなるせいか、補習にも積極的に参加し、夜には毎日自習に来るなど各自が自分なりに行動できるようになってきたと思います。

その色々あった夏期講習の最後の8時間自習でお弁当をみんなで食べて頑張ります。こちらもお弁当はコロナで自粛しておったのですが、お弁当も復活です。みんな楽しみのお弁当で袋から出してみると...



お弁当の蓋にこのようなイラストとコメントが!! これは中学3年生にとってはとてもうれしいですね! 「とり膳」さんありがとうございます。(関目教室の1階にありますので、お近くにお立ち寄りの際はぜひ。) 中学3年生は受験勉強をしていると「なんで自分だけ……」と悪いように考えてしまうことが

が多々あります。このお弁当をみるとそんな自分でも気にかけてくれている人がいるということがわかります。「努力は無駄にはなりません」自分のベストをつくしましょう!

#### ③ 学習部

小学部の子達は、朝からどんなテンションやねーんというぐらい元気いっぱい! 早起きが苦手? な先生達も子供達の元気につられて元気いっぱい。毎年恒例の理科実験はみんな楽しみにしており、黙々と実験に取り組んでいます。今回は使いませんでしたが、マッチを使うなど、我々が子供の時に当たり前にしていたことが最近ではされなくなり、そういった意味でこの理科実験は子供達にとって非常にためになるいい機会だと思っております。理科が好きな子が増えてくれると良いですね。



中学部の子達は、先にも述べましたが、部活が本格化する中、良く頑張っていたと思います。中学1・2年生は廊下などに貼ってある、中学3年生のやり切りプリントの量や、過去問の量、また、毎日来ている中学3年生の自習の様子など受験を迎える中学3年生の雰囲気に触れる良い機会だったと思います。夏期講習最後に受けた模試の結果は9月末か10月頭に戻ってきますので、そこまでお楽しみですね。今回の模試で成果が出た人そうではない人さまざまとは思いますが、左のお弁当の蓋にも書かれているように「努力は無駄にはならない」です。正しい努力をしましょう!!